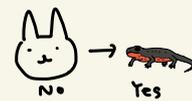


イモリ

2023年はイモリ年
2024年もイモリ年
千支はもう終わりです



Vol. 59

しんぶん

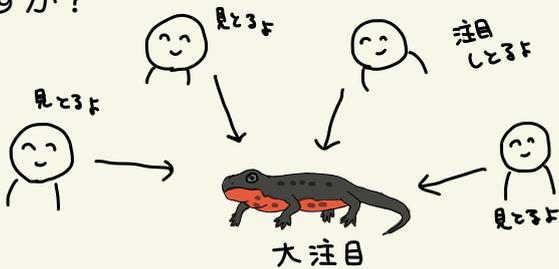


発行日：2023年 1月 10日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

イモリ最新研究

みなさんは、アカハライモリが再生医療の分野で注目されていることを知っていますか？



アカハライモリを含むイモリの仲間は、再生能力が非常に高い生物として知られています。この高い再生能力を解明することができれば、人間の再生医療へと活かすことができます（多分）。

イモリの再生能力、他の動物と比べてどれくらいすごいのか？

再生能力自体は、どの動物も幼生とか胎児のときはあたりすぎるけど、成体になっても能力を持ち続けているのは有尾の両生類だけだよ

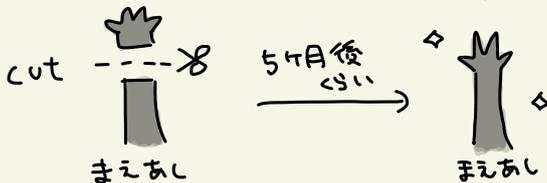
※イモリやサマウオが含まれます

再生がなぜ難しいかというと、有尾目以外の動物は、①再生したい部位の細胞を新たに用意することができない。②細胞を元のように組み立てることができない、からです。しかし逆に言ってしまうと、この①②の条件さえクリアしてしまえば、再生を行うことができます。

では、イモリはどうやって再生を可能にしているのでしょうか？そこには、**Newtic1** という遺伝子が関わっているようですが・・・。

え～
どれくらい再生できるの～？

※イメージ図（実際にはできないので大体のイメージで）



うわー!!!
うでー!!! うでがー!!!
切られてるー!!!
キドイー!!!

再生については全く目に入っていないイモリちゃん 人類め……

次回に続きます。

イモリの最新研究の内容の予定だったのにRが足りなくてほとんど紹介してないよね～

参考文献 **Newtic1** は できてきません

TSUKUBA JOURNAL. 「膜タンパク質 Newtic1が赤血球の再生因子分泌に関わる～イモリの再生で新仮説を提唱～」
<https://www.tsukuba.ac.jp/journal/biology-environment/20221116140000.html> (2023年1月3日閲覧)
プレスリリース <https://www.tsukuba.ac.jp/journal/pdf/p20221116140000.pdf> (2023年1月3日閲覧)

※イモリの手足を切断してはいけません。動物に苦痛を与えてしまう実験については、必ず関係機関の許可が必要です。

次回 イモリ最新研究2